ATTAC 京都ニューズレター

K・attac

でも　やわらかっく

代表：
平川秀幸
連絡先：
小森政孝（ATTAC 京都事務局）
京都市左京区田中上古川町 8
高野マンション 206 号
TEL/FAX　075-706-3875
E-MAIL　saisei@mte.biglobe.ne.jp

第 2 号 ● 2002.8.24（土）

attacフランス訪問記

ひらかわ　ひでゆき

★パリに向かう前、2002/7/30～8/3 まで、イギリスはヨークで学会に出席してきました。ヨークの市街は洪水で、川と河川敷の道の境目がなくなり、交通標識が水面から頭を覗かせていました。学会では友人が ATTAC ベルギー会員と判明というううれしいハプニングも。

8/4、1 時間遅れでヒースロー空港を飛び立って、パリ市内バスティーユ広場の宿に到着したのは 6 時頃。そこでパリ 12 区在住の呂明哲さんと落ち会いました。

（洪水は本当だった。温暖化の影響なのか!?→）

★その後、呂さんのお宅で ATTAC パリ 12 区のメンバーの方と合流し、食事に出かけました。中華のお店で活動についていろいろ話を伺いました。

翌日は、呂さんと一緒に今度はパリ 13 区のピネル通りにある ATTAC France のオフィスを訪問。ATTAC France と各ローカルグループとの関係、トービン税の欧州の現況、他団体との関係、昨年の 9.11 テロの影響などについて、小一時間ほど話を伺いました。対応してくれたスタッフは英語が通じなかったので、呂さんに通訳してもらいながらのインタヴューでした。(呂さんは ATTAC 関西代表の杉村さんの幼馴染で日本語ぺらぺら)詳しい話は次のページで。

（←こぢんまりしたオフィス。常勤スタッフは 7 人。いかにも記念撮影）

★ATTAC France では、お土産に ATTAC の出版した本をたくさんもらいました。「千一夜シリーズ」という文庫サイズくらいの本で、ATTAC が取り組んでいるさまざまな話題をコンパクトにまとめたものです。お値段も手ごろで日本円で 200 円から 350 円くらい。マンガの単行本より安い(でもタダでもらってきました)。邦訳されてる『反グローバリゼーション民衆運動』の最新版も入ってます。日本の ATTAC もこんなふうにどんどん情報発信できるといいなぁ。　(留守番していたアタック犬ハンナとアタック本→)

8/5、パリ東駅から電車で、ドイツの環境先進都市フライブルクへ向かいました。翌日、ちょうど語学留学中だった京都女子大の学生たちと、環境ジャーナリストの今泉みね子さんを訪ね環境政策の話などを伺いました。

パリで聞いた attac の秘密!? の巻

訪問者： 平川秀幸

★ATTAC France のローカルグループの一つである「パリ 12 区」は、現在会員が 240 人。12 区はパリの中でも一番保守的な地域で、当初は 8 人から始まったとか。活動は月例全体集会(第 1 水曜日)、ワインバーでの定期討論会(第 2,4 水曜日)、テーマ別の学習会。日曜日にはマルシェ(日本でいう朝市)で PR 活動をしているそうです。ただ、作業のできる事務所のような常設の場所がないそうで、只今物色中のとのこと。ちなみに会員は比較的高い年齢層が多いそうですが、若い世代も元気で、上の世代は言いたい小言をグッとこらえて、彼らに好きにやらせているそうです。(ATTAC パリ 12 区の HP はこちら。会合や学習会の報告も読めます：http://www.local.attac.org/paris12/)

★ATTAC France(上の写真)で、ローカルグループとの間での会費の扱いについて聞いてみました。年会費は月収 900 ユーロ未満の 15 ユーロから、月収 3000 ユーロ以上の 45 ユーロまでの段階制。1/3 がローカルグループに、2/3 が ATTAC France に入るようになっているそうです。また ATTAC の出版物の売上はローカルグループの収入になるそうです。意思決定の仕組みなどは、『インパクション 131 号』に詳しいインタヴュー記事があります(組織論、民主主義論としてとても興味深いです)。

★ATTAC France では 8/23-27 にアルルで「夏の大学」という合宿セミナーを開きます。ちょうど ATTAC 京都の 8 月例会をやっているときですね。
★ATTAC のなかでは、ボヴェを支持すべきかどうか、ATTAC の活動を経済的なものに絞るべきかどうかを疑う人々もいるそうですが、今のところ少数派とのこと。
★極右ルペンに勝ったとはいえ、シラク政権に対する ATTAC の態度は批判的だそうです。なにせ左派の顔をしながら、やってる政策はしっかりネオリベなので。

★ATTAC の要のトービン税ですが、フランスでは前政権が導入を認めたとはいえ、他国は先行き不透明。現在、欧州委員会の中にいる各国 ATTAC メンバーが、盛んにロビー活動をしているところだそうです。ATTAC France では学術委員会で、トービン税の税収の再分配の仕組みについて具体的な検討が進められているとのこと。
★日本では左派と環境運動系はあんまり仲良くないような気がしますが、フランスではそうでないそうです。ただ、実際行動よりも問題の認識・分析・学習に重きを置く ATTAC には、他団体から「もっと動けー」と批判も。

★9.11 テロの影響は基本的にはあまりなかったようです。今年の 9/11 にはパリで、IMF と米国の政策批判を中心にした特別集会もあるそうです。ただ、ATTAC が反対してるのは「新自由主義」型のグローバリゼーションであると強調しないと、極右と一緒くたにするマスコミもいるので注意しているとのこと。
★おまけ。下の写真はフライブルクの今泉さんのお宅の分別ゴミ箱と、みみずコンポストと、その土で育ったお花たち。屋上には太陽電池パネルがあって、余った電気は電力会社に売ってるそうです。

ヨハネスブルグ・サミットやけど、ジョージ・ブッシュはん、来はらんらしぃね。

おはなし：　田中　一郎

〈ヨハネスブルグ・サミット〉

８月２６日から９月４日まで、南アフリカのヨハネスブルグにおいて、「ヨハネスブルグ・サミット（持続可能な開発に関する世界首脳会議）」が開催されます。

各国の政府首脳や産業界、ＮＧＯなどから何万人もの参加者が集まることが予想される、今年最大の国際会議です。

〈リオ地球サミットから１０年〉

１９９２年にブラジルのリオ・デジャネイロで開かれた「地球サミット（国連環境開発会議）」は、「アジェンダ２１（持続可能な開発のための具体的行動計画）」を採択しました。

この地球サミットから１０年を経て開催されるヨハネスブルグ・サミットは、アジェンダ２１のより効果的な実施についての議論の場であるとされています。

各国首脳の決意を表明する「政治宣言」と、環境行動計画の実施を促進するための「世界実施文書」の採択をめざすほか、各国が独自の途上国向けの貢献プロジェクトを表明する「約束文書」が取りまとめられることになっています。

〈環境問題への国際的な取り組みと課題〉

地球サミットでは、会議の期間中に、気候変動枠組み条約や生物多様性条約への各国政府の署名がすすみ、条約発効に寄与しました。

地球サミット以降の１０年間には、温室効果ガスの具体的な削減目標を決めた１９９７年の京都議定書をはじめ、環境問題関連の諸条約の締結が一定の前進を見せました。

しかし、世界の環境破壊は悪化の一途とたどっていますし、生物多様性条約への署名をせず京都議定書からも離脱を表明したアメリカ政府など、取り組みの前進をはばむような動きも目立ってきています。

ヨハネスブルグ・サミットでは、京都議定書の発効についても議論されますが、温室効果ガスの最大の排出国であるアメリカや、これに迎合的な日本政府などの姿勢が厳しく問われます。

〈グローバル化と南北問題〉

また、この１０年間には、グローバリゼーションの進行のなかで、先進国と途上国の貧富の差はますます拡大し、途上国の累積債務問題も深刻化しました。

ヨハネスブルグ・サミットでは、これらの問題についても議論がなされることになります。

今年の５月にインドネシアでおこなわれた、ヨハネスブルグ・サミットの準備のための会合では、先進国政府と途上国政府の間で、債務問題や貧困問題についての意見の対立が表面化しました。会合では、アフリカを中心とした途上国が「環境破壊が貧困を生み出す。貧困解決には資金援助を」と主張し、開発資金の増額や債務帳消しなどの約束を先進国から取り付けようとしたのに対し、先進国は具体的な約束を拒み、逆に、途上国側に汚職防止や「民主主義」の徹底などをもとめて途上国からの反発を招き、交渉は決裂してしまいました。

〈ＮＧＯなどの活動〉

こうした途上国政府とはまた別に、債務帳消しを要求するＮＧＯも活発に活動しています。

インドネシアでの準備会合に並行して開かれた、ＮＧＯ主体のインドネシア民衆フォーラムでは、債務の返済を拒否するために南側のＮＧＯのネットワークを形成するという構想などが提案されました。

ヨハネスブルグ・サミットが開かれる南アフリカは、ＮＧＯのみならず労働組合や政党もジュビリー（債務帳消しをもとめる運動）に積極的に参加している、ジュビリー・サウスのいわば本拠地です。債務帳消しをもとめる運動がこれからどう盛り上がっていくのか、注目されるところです。

森の荒廃が進んでいる！？

山沖　直樹

先日、槍ヶ岳登山の帰りに上高地を散策する機会があった。澄んだ川と涼しげな森が魅力の、日本有数の観光地だ。しかし、実際に行ってみると、そこかしこに倒木や立ち枯れが目立つ。ここもまた、荒廃が急激なスピードで進んでいたのである。

日本の主な森林・里山は、そのほとんどが今崩壊の危機にある。京都で言えば、京大の演習林で有名な北山の芦生の森。久しぶりに行ってみるとミズナラを中心に立ち枯れが目に付いた。

最大の原因は温暖化だ。気温の上昇とともに、森林の生態系が崩れてきている。本来の共生関係の外にいる南方の昆虫が北に移動し、そこで害虫と化しているのである。実際、上高地で見かけた倒木には、虫によるものと思われる穴が無数に見られた。

だが、それと同じくらい大きな問題がある。虫に寄生された木は、すぐさま切り倒した後完全に焼却処理しなければならない。そうしなければ、害虫はまた別の木に移るだけで全く意味がないからだ。ところが、そのような処理をする人間はもうほとんどいなくなっている。日本の林業を安い外材に押されるままに衰退させてきた結果である。もはや日本は、自国の自然を守る力さえ失いつつある。

「マクドナルド」などに代表されるような「安さ」は、結局は未来の切り売りでしかない。日本の森は、そのことをはっきりと突きつけてくる。

イベント・集会情報　９月

8 月 26 日（月）
ジョゼ・ボベ歓迎京都集会（仮称）第一回相談会 / 午後 6 時～/ほんやら洞２Ｆ

9 月 1 日（日）
9･1 平和について語る集い-関東大震災の記念日に/ 午後 1 時 30 分～/宇治公民館第一会議室（JR 宇治駅・京阪宇治駅下車）/主催 詩人尹東柱を偲ぶ京都の会/参加費 300 円

9 月 6 日（金）
インドネシア・コトパンジャンダム裁判－提訴報告集会/午後 6 時 30 分～/エル大阪大会議室/主催 コトパンジャン・ダム被害住民を支援する会/参加費 500 円

9 月 12 日（木）
「なぜＯＤＡが訴えられるのか？」（コトパンジャン・ダム訴訟の意味するもの：京都報告会）/午後 2 時～5 時/京都精華大学 L101 教室/主催 コトパンジャン･ダム被害住民を支援する会/後援　京都精華大学

9 月 14 日(土)
ATTAC 関西グループ例会「トービン税」/午後 2 時～5 時/スペース AK（地下鉄南森町）/主催 ATTAC 関西グループ/参加費 1000 円

9 月 16 日（月・祝）
上映会『人らしく生きよう～国労冬物語』/午後 2 時/京都市立呉竹文化センター（京阪・阪急丹波橋駅下車）/主催 映画「人らしく生きよう～国労冬物語」京都連続上映ネット/前売り 大人 1000 円 学生 500 円 当日は＋200 円

9 月 22 日（日）
レバノン・パレスティナ報告集会「パレスティナ難民は、今」/報告　岡真理さん他/午後 2 時～5 時/大阪人権センター（JR 芦原駅下車 5 分）/主催 「パレスティナ難民は、今」実行委員会/参加費 800 円

事務局からのお知らせ

☆ **次回の例会**

ごめんなさい。8/24 現在で未定です。日時はいつものように第 3 土曜日。9/21(土) 19:00 からキャンパスプラザ 4F 第 4 講義室です。

☆ **ジョゼ・ボベ歓迎イベント相談会**

フランス農民連盟代表のジョゼ・ボベ氏が ATTAC-Japan（首都圏）グループの招請により、10 月末に来日することになりました。ジョゼ・ボベ氏はフランス社会運動の顔のような人物であり、1999 年に建設中のマクドナルドの店舗を解体したり、最近では包囲されたアラファト議長の救援に駆けつけたりと、反戦・反グローバリゼーション運動の先頭にたちつづけています。

仙台、東京、新潟、大阪と回った後、京都には 10/29 に来ることになっています。つきましては、京都での歓迎イベントのための初回の相談会を以下のように行います。

日時　8 月 26 日(月)　18:00～

場所　ほんやら洞２Ｆ（寺町今出川西入る北側）

なにかできるかも、と思う方、ぜひご参加ください。